

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月2日
【四半期会計期間】	第16期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)
【会社名】	モーニングスター株式会社
【英訳名】	Morningstar Japan K.K.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 朝倉智也
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木一丁目6番1号
【電話番号】	03(6229)0810
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 小川和久
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木一丁目6番1号
【電話番号】	03(6229)0810
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 小川和久
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第1四半期連結 累計期間	第16期 第1四半期連結 累計期間	第15期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	560,487	576,851	2,199,826
経常利益(千円)	180,606	184,291	701,577
四半期(当期)純利益(千円)	103,293	113,376	382,640
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	103,276	113,386	382,636
純資産額(千円)	7,273,499	7,249,120	7,414,274
総資産額(千円)	7,500,715	7,481,756	7,759,795
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	373.70	413.74	1,383.69
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	97.0	96.9	95.5

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において、当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

(1) 当第1四半期連結累計期間の連結業績の概況

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日）の連結業績は、売上高が前年同四半期（平成23年4月1日～平成23年6月30日）の560百万円から16百万円（2.9%）の増収となる576百万円となりました。

また、売上原価は、前年同四半期の276百万円から14百万円（5.3%）増加し290百万円となり、販売費一般管理費は、前年同四半期の129百万円から4百万円（3.7%）減少し124百万円となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は、前年同四半期の154百万円から6百万円（4.3%）の増益となる161百万円となりました。

営業外損益が、前年同四半期と比べ、純額で2百万円減少した結果、当第1四半期連結累計期間の経常利益は、前年同四半期の180百万円から3百万円（2.0%）の増益となる184百万円となりました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の四半期純利益は前年同四半期の103百万円から10百万円（9.8%）の増益となる113百万円となりました。

サービス別売上高は、以下のとおりであります。

サービス別売上高	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		増加率 減少率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
コンサルティング	160,651	28.7	193,321	33.5	20.3
データ・ソリューション	318,812	56.9	309,065	53.6	3.1
メディア・ソリューション	81,023	14.4	74,464	12.9	8.1
連結売上高	560,487	100.0	576,851	100.0	2.9

・コンサルティング

セミナー、ウェブ・コンサルティング、モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社の投資助言売上など主なサービスがいずれも増加いたしました。また、平成24年1月より営業を開始したイー・アドバイザー株式会社のマネールック事業の売上も加わり、その結果、コンサルティングの売上高は、前年同四半期の160百万円から32百万円（20.3%）の増収となる193百万円となりました。

・データ・ソリューション

ファンドデータの売上は増加いたしました。日刊「株式新聞」ほか株式関連の売上が減少いたしました。その結果、データ・ソリューションの売上は、前年同四半期の318百万円から9百万円（3.1%）の減収となる309百万円となりました。

・メディア・ソリューション

資産運用関連のウェブ広告が増加いたしました。新聞広告が減少いたしました。その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同四半期の81百万円から6百万円（8.1%）の減収となる74百万円となりました。

セグメント別には、金融情報評価・情報提供・コンサルティングの当第1四半期連結累計期間の売上高は、484百万円と前年同四半期の485百万円から469千円（0.1%）の減収となりました。

営業利益は、前年同四半期の150百万円から50百万円（33.9%）の増益となる201百万円となりました。

ウェブ・コンサルティングの売上高は、前年同四半期の76百万円から15百万円（20.4%）の増収となる92百万円となりました。

営業利益は、前年同四半期の4百万円から、12百万円（3.97倍）の増益となる17百万円となりました。

なお、ウェブ・コンサルティングの売上高は、前述のサービス別売上高では、コンサルティングに帰属しております。また、平成23年7月1日に、ウェブ・コンサルティングを営んでいたゴメス・コンサルティング株式会社を合併したため、当第1四半期連結累計期間には、販売費一般管理費のうち、57百万円を報告セグメントに帰属しない全社費用としてセグメント利益を計算しております。前第1四半期連結累計期間には全社費用はなく、当第1四半期連結累計期間の連結営業利益は、報告セグメントの営業利益合計に全社費用を加味したものとなります。

(2) 財政状態の分析

資産合計は前連結会計年度末と比較して278百万円減少し、7,481百万円となりました。

これは主として、流動資産が前連結会計年度末と比較して263百万円減少し、5,871百万円となったことによるものであります。

流動資産の減少は、主として配当金の支払を246百万円行なったことにより、現金及び預金が289百万円減少したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比較して112百万円減少し、232百万円となりました。

負債の減少は、主として法人税等の支払のタイミングにより、未払法人税等が104百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結累計期間に113百万円の四半期純利益が計上され、246百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が133百万円減少いたしました。

また自己株式が31百万円増加いたしました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して165百万円減少し、7,249百万円となりました。

(3) 事業上および財務上の当社が対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,052,000
計	1,052,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月2日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	279,128	279,128	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式制度は採用し ておりません。
計	279,128	279,128		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	279,128	-	2,093,080	-	2,484,387

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 5,711		
完全議決権株式(その他)	普通株式 273,417	273,417	
発行済株式総数	279,128		
総株主の議決権		273,417	

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
モーニングスター 株式会社	東京都港区六本木 一丁目6番1号	5,711		5,711	2.0
計		5,711		5,711	2.0

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,221,647	931,855
売掛金	283,084	308,225
有価証券	4,569,250	4,569,263
たな卸資産	¹ 6,593	¹ 5,597
繰延税金資産	17,211	7,443
その他	38,342	49,816
貸倒引当金	1,285	535
流動資産合計	6,134,844	5,871,666
固定資産		
有形固定資産	² 25,674	² 22,170
無形固定資産		
のれん	111,188	109,345
ソフトウェア	213,728	204,212
その他	6,820	8,542
無形固定資産合計	331,737	322,100
投資その他の資産		
投資有価証券	70,921	70,936
繰延税金資産	1,762	1,775
長期預金	1,000,000	1,000,000
その他	193,633	192,037
投資その他の資産合計	1,266,316	1,264,749
固定資産合計	1,623,729	1,609,020
繰延資産		
株式交付費	1,221	1,069
繰延資産合計	1,221	1,069
資産合計	7,759,795	7,481,756

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,772	35,512
未払金	98,087	89,553
未払法人税等	169,111	64,961
未払消費税等	17,821	17,288
その他	8,727	25,319
流動負債合計	345,520	232,636
負債合計	345,520	232,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,093,080	2,093,080
資本剰余金	3,208,782	3,208,782
利益剰余金	2,256,602	2,123,091
自己株式	144,108	175,761
株主資本合計	7,414,356	7,249,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81	72
その他の包括利益累計額合計	81	72
純資産合計	7,414,274	7,249,120
負債純資産合計	7,759,795	7,481,756

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	560,487	576,851
売上原価	276,372	290,899
売上総利益	284,114	285,952
販売費及び一般管理費	129,686	124,915
営業利益	154,428	161,037
営業外収益		
受取利息	26,680	23,234
受取配当金	16	10
為替差益	-	58
その他	83	834
営業外収益合計	26,780	24,138
営業外費用		
為替差損	427	-
株式交付費	152	152
自己株式取得費用	-	289
その他	22	441
営業外費用合計	602	884
経常利益	180,606	184,291
特別損失		
持分変動によるみなし売却損	1,463	-
特別損失合計	1,463	-
税金等調整前四半期純利益	179,143	184,291
法人税、住民税及び事業税	67,964	61,165
法人税等調整額	7,885	9,749
法人税等合計	75,849	70,914
少数株主損益調整前四半期純利益	103,293	113,376
四半期純利益	103,293	113,376

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	103,293	113,376
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	17	9
その他の包括利益合計	17	9
四半期包括利益	103,276	113,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	103,276	113,386
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
仕掛品	3,241千円	2,517千円
貯蔵品	3,352千円	3,080千円

2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
	174,467千円	177,971千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
役員報酬	10,076千円	18,727千円
従業員給与	39,060	32,594
荷造運賃	22,039	21,027
株式業務費	10,270	5,135
支払報酬	5,867	4,650
賃借料	3,257	2,462

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	23,769千円	25,581千円
のれんの償却額	1,842	1,842

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年5月20日 取締役会	普通株式	利益剰余金	200,911	750	平成23年3月31日	平成23年5月31日

- (2) 基準日が当連結会計年度開始の日から当第1四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年5月22日 取締役会	普通株式	利益剰余金	246,887	900	平成24年3月31日	平成24年6月1日

- (2) 基準日が当連結会計年度開始の日から当第1四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	四半期連結 損益計算書 計上額
	金融情報評価 ・情報提供 ・コンサル ティング	ウェブ・コン サルティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	485,279	75,207	560,487	-	560,487
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	1,228	1,228	1,228	-
計	485,279	76,435	561,715	1,228	560,487
セグメント利益	150,129	4,299	154,428	-	154,428

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	四半期連結 損益計算書 計上額
	金融情報評価 ・情報提供 ・コンサル ティング	ウェブ・コン サルティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	484,810	92,040	576,851	-	576,851
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	484,810	92,040	576,851	-	576,851
セグメント利益	201,030	17,097	218,128	57,091	161,037

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する項)

(単位:千円)

売上高	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
報告セグメント計	561,715	576,851
セグメント間取引消去	1,228	-
四半期連結損益計算書の売上高	560,487	576,851

(単位:千円)

利益	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
報告セグメント計	154,428	218,128
セグメント間取引消去	-	-
全社費用(注)	-	57,091
四半期連結損益計算書の営業利益	154,428	161,037

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	373円70銭	413円74銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	103,293	113,376
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	103,293	113,376
普通株式の期中平均株式数(株)	276,409	274,031
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
(うち、子会社の発行する潜在株式による四半期純利益調整額)(千円)		
普通株式増加数(株)		
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものではありません。		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年5月22日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行なうことを決議いたしました。

配当金の総額 246,887千円

1株当たりの金額 900円

支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成24年6月1日

(注) 平成24年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行なっております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月1日

モーニングスター株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 遠藤 康彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 上田 雅也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているモーニングスター株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、モーニングスター株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。